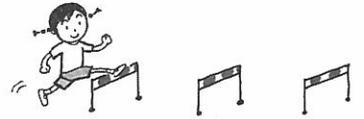


NIE ヒント・アイデア集

NIEの学習の流れを三つのステップに分け、簡単にいくつかの授業プランをまとめてみました。本編で取り上げているテーマはページを示してあります。

ステップ1

新聞を読む習慣を身につける



アンケート

NIE実施前と実施後に生徒がどの程度新聞を読んでいるかアンケートを実施し、それをもとに授業計画を立てる。

- [サンプル] ●新聞を購読していますか。(何新聞?) ●新聞を読みますか?
●新聞のどの面を読みますか?

新聞クイズ

同一の新聞を持たせて事前に作った新聞クイズを行う。クイズは、記事を最後まで読まなければ答えが見つからないように作る。新聞構成を理解すれば、経済に関する問題は「総合面」「経済面」から探す——というように新聞を効率的に読めるようになる。また、出題者側で話題にしたい記事で問題をつくらば、討論などの授業展開も可能である。

新聞解剖

新聞の1面から最終面まで、どのような構成で新聞が作られているかを調べてみる。☞ p10
5W1Hや逆ピラミッドの文体など新聞独特の文体に着目し、どのような記事に使われているか考えてみる。☞ p18
社説や解説、コラムなどについて、事実の記述と意見の記述を識別できるようにしておこう。

スクラップ

新聞記事のスクラップを実施する。「その日、気になった記事」などテーマは何でもよい。慣れてきたらテーマを絞り、将来の進路に関することや、興味を持って継続的に調べてみたい事柄をスクラップする。スクラップした記事を要約したり、自分の意見なども添えると表現力が身につく。☞ p14. 32. 36. 88

ステップ2

新聞から表現の基本を学ぶ



社説の分析

「事実の記述」5W1Hを中心に事実を伝えている部分(客観的記述)を指摘し記事の内容を理解する。必要な事柄を簡潔に表現する力が身につく。

「意見の記述」社説の中でその社の主張が書かれている部分(主観的記述)を指摘しどのような主張であるかを理解する。自分の主張を訴える力が身につく。☞ p44

コラムの分析

難解語句を抜き出し、文中における意味を調べる。コラムの構成(起承転結)を分析し、要旨をまとめる。☞ p32. 44

ニュースキャスター 原稿作り

新聞記事から気になる記事を探し、ニュース原稿に書き換える(書き言葉と話し言葉の違いを理解する)。

- ①文末表現を「だ、である調」から「です、ます調」に変える。
 - ②同音異義語など間違えやすい言葉は言い換える。
- ☞ p40

4コマ漫画

4コマ漫画の吹き出しを消してせりふを自由に考えさせる。自分の入れたせりふで独自のストーリーを書く。起承転結などの構成を学ぶ。

投書の分析

投書文の意見の記述を指摘することで内容を理解する。投書した方の年齢や環境からなぜこのような主張になっているのかを推察する。☞ p64. 68. 92

新聞広告の 分析

新聞広告の表現について、どのような年齢層の人をターゲットにした広告であるかを考えてみる。また、おもしろい表現や気になる表現を抜き出し、その理由を分析する。自分独自の広告文を書いてみる。簡潔でインパクトのある表現を学ぶ。

新聞比較読み

新聞数紙を比較読みする。

- ①同じ題材をテーマにした社説やコラムを比べ、主張の違いを読みとる。
- ②同じ事件の伝え方の違いを調べてみる。

一つの事件でも視点の違いによって多様な伝え方や考え方があることを理解する。☞ p24. 28

新聞写真 (グラフ・図表)

「もし新聞写真がなく、記事だけだったら」——といった場合を想定し、新聞写真がわれわれ読者にどのようなことを表現しているかを考える。

グラフや図表の読みとり記事を書いてみる。プレゼンテーション能力を身につける。

ステップ3

表現してみる



リード文を書く

○新聞の本記を読んでリード文を書いてみる。
新聞のリード文は記事を要約したもの。本記を読んでリード文を書く練習をする。後で実際のリード文と照らし合わせながら文章をまとめるコツをつかむ。

見出しを書く

○新聞記事を読んで見出しを書いてみる。
新聞のリード文を書いたところで、さらに短く削りながら見出し文を作ってみる。内容が適切に伝わり、興味を引くような見出しを作るよう心掛ける。

スピーチ

○ニュースキャスターになったつもりで新聞記事をみんなの前で読んでみる。
○解説者になったつもりで新聞記事に対する独自のコメントを発表する。
新聞記事を話し言葉に書き換えてニュース原稿を作り読んでみる。次に、解説者になったつもりで、ニュースキャスターが読んだ記事にコメントする。相手を意識した話し方のコツをつかむ。

<評価>

相互評価…話し手は自分の姿を見ることができないので、聞き手が評価をする。

自己評価…聞き手の評価を回収して、自分のスピーチについて自己評価をする。

※ビデオを使って発表者の自己評価をしてもよい。

☞ p36. 40. 44

討論

○新聞の中から討論のテーマを見つける。
○相手の話を理解し自分の意見を述べるようにする。
考える時間のある紙上討論や、グループ討論など小グループによる討論からはじめてみる。 ☞ p56. 60

プレゼンテーション

○研究テーマについて新聞やインターネットなどから情報を集める。
○プリントやコンピューターを使いながら発表する。
研究テーマが相手に的確に伝わるよう工夫することがポイント。テキスト資料だけではなくグラフや図表、コンピューターのプレゼンテーションソフトなどを使って発表できるようにする。

投書文を書く

○新聞記事を読んで自分なりの意見を書いて、実際に新聞社に投書する。
○独自の解決策を提案する。
自分の思ったことを素直に文章化する。具体的な解決策なり提案を打ち出すことがポイント。400字程度の短い文章の中に簡潔にまとめる力が身につく。 ☞ p64. 68

ディベート

○ディベートのテーマに関する資料を新聞記事から探す。
○自派の立場ばかりではなく相手の立場からの資料も集め、事前に検討する。
肯定派、否定派に別かれて論戦を展開する。
<ねらい>
資料を収集すること…テーマについての資料を集める方法について学ぶ。
逆の立場になって考える…反論は相手の主張を理解した上で行う。従って、多面的に事柄をとらえられるようになる。 ☞ p56. 60

論文

○独自の論文テーマを設定する。
○新聞などからテーマに関する資料を探し、カードとしてまとめる（出典を明確にする）。
論文テーマに従って資料収集を行い、調べた項目は分類してカードにまとめておく。長い論文では、まずはじめに全体像を作っておくことがポイント。 ☞ p72. 76. 92

歳時記

○四季の変化がはっきりしている日本の文化を新聞記事から探してみる。
新聞から日本の四季が読みとれる記事を切り取ってスクラップし、感想を添えておく。旅行先などで地元新聞を手に入れ、四季が感じられる記事をスクラップする。特に祭りなどを特集した地元紙が手に入れば、新しい発見があるかも知れない。 ☞ p80

短歌・俳句

○新聞の短歌・俳句を読んでみる
○実際に短歌・俳句を作ってみる
自分で作った短歌や俳句をみんなの前で披露する。お互いに感想などを交換しながら短歌・俳句に磨きをかけ、珠玉の作品を新聞社に投稿する。